

賢明学院中学・高等学校（関西学院大学系属校）

所在地 : 大阪府堺市
 生徒数 : 中学校…約160名／高校…約500名

国語科 上松 貢 様



現状・課題

導入形態

- 生徒の作成する文章を見ていると、自身の考えを言語化する力が不足している。
- 自身の考えを言語化する力は、大学入学共通テストや総合型・学校推薦型選抜等、生徒が希望進路を実現する上で必要不可欠である。
- 関西学院大学でも、論文やレポートの読解・作成に苦戦する学生への対応が課題であると聞いている。大学からは理系の知識に加え、「読めて書ける生徒」を輩出することを期待されている。

- 【関西学院大学特進サイエンスコース】
- 目標級 …高校1年生／準2級
 - 指導概要…国語科授業内（年45コマ程度）
 - 教材 …『基礎から学べる！
文章カステップ 準2級』
文章読解・作成能力検定 準2級
- 【特進エグゼコース・特進コース】
- 目標級 …高校2年生／準2級
 - 指導概要…国語科授業内（年20コマ程度）
 - 教材 …『基礎から学べる！
文章カステップ 準2級』
文章読解・作成能力検定 準2級

文章検導入のポイント

文章検導入の効果

- 上記課題を受け、本校では中学校で語彙力の育成、高校で表現力の育成にそれぞれ注力しており、そのツールとして文章検を活用している。
- 文章検は、文章を読み取る力、データを理解する力、自分の意見を構築する力、読み手視点で語彙や表現を選び取る力等、文章力を引き上げるために必要な様々な力を身につけさせることができる。
- 『文章カステップ』は学習プロセスが細かく段階的に分かれているため、少しずつ実力を養成することができる。

- 文章検を学んだ高校3年生が卒業前に作成した論文に対し、大学の先生方からその分かり易さを評価いただいた。（関西学院大学特進サイエンスコース）
- 自己推薦文の作成や面接など入試に必要な自分の考え・経験を伝える力の向上が見られた。また、指導する際も「文章検で学んだところだよ」と伝えると、すぐに理解・納得し、改善することができている。（特進エグゼコース・特進コース）

コース名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関学コース (1年生)	「言語文化」での指導 (週2コマ、年間45コマ程度)									文章検 実施		
特進エグゼ・特進コース (2年生)	「論理国語」での指導 (断続的に年間20コマ程度)											

※2022年12月の取材内容に基づきます。